

内閣総理大臣
安倍 晋三殿

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)
代表 森 透

危機状況下にある女の子の教育について(ご提案)

6月8日～9日にカナダで開催されるG7主要国会議は「フェミニストG7」とも呼ばれるほど、ジェンダー平等を中心課題とし、主流化を図ろうとしています。女の子・女性の教育は他の持続可能な開発目標(SDGs)の達成のために最も重要な役割を担っており、質の高い女の子・女性の教育が、健康改善、個人の収入向上、貧困からの脱出をもたらすものであることは多くのエビデンスによって示されています。

一方、現在、世界で学校に通えない子ども・若者は2億6,300万人にもものぼり、そのうちのほとんどが、長期化した紛争や貧困など不安定な状況にある国に住んでいます。こういった危機状況下では、女の子が学校に通えなくなる可能性は、男の子の2.5倍にも及びます。また、ジェンダー不平等により、暴力、児童婚・早期婚・強制結婚といった女の子にとってのリスクが高まります。教育はこうしたリスクを防ぐための強力な防御策となります。今回のG7では「危機状況下における女の子の教育に関する宣言」がカナダ政府から提案されます。我が国の教育分野へのコミットメントとリーダーシップを国際社会に示す絶好の機会です。つきましては、本会合について以下をご提案します。

1. 「危機状況下における女の子の教育に関する宣言」を支持してください

この宣言の中で、カナダのトルドー首相は、危機状況下にある370万人の子どもたちの教育のために、G7諸国が教育援助額を今後3年間で新たに計13億ドル増やすことをG7首脳が合意することを提案しています。2016年9月の国連総会において日本政府が発表した「平和と成長のための学びの戦略～学び合いを通じた質の高い教育の実現」は、重点的な取り組みとして①女子教育支援(教育におけるジェンダー格差の是正)、②紛争影響国や貧困国・地域の子どもの、障害者など、様々な要因により質の高い教育へのアクセスから疎外されている人々に対応した支援を挙げています。本宣言は日本政府の方針を後押し、危機状況下における女の子の教育が世界の人道支援の主要な優先事項となり、危機状況下における女の子の教育への支援に対する国際社会の機運を高めることにつながります。日本政府としてこの宣言を支持してください。

2. 日本政府のコミットメントを表明してください

これまで日本政府は、2国間援助や教育のためのグローバル・パートナーシップ(GPE)への拠出を通じて、緊急下の教育を支援してきた実績があります。カナダのトルドー首相は、新たに5億カナダドルの資金コミットメントを表明する予定です。日本政府のこれまでの実績を発表することに加え、この宣言への日本政府の方針を発表し、資金拠出も含めたコミットメント、とりわけ危機状況下の教育への継続したコミットメントを表明していただきたく思います。

末尾になりましたが、本会合のご成功を心より祈念しております。本状についてお問い合わせは、以下までお願いします。

竹内海人 JNNE 事務局次長、(公社)シャントィ国際ボランティア会(SVA) 気付
電話: 03-5360-1233(事務所)、FAX: 03-5360-1220、Eメール: takeuchi@sva.or.jp